平成 24 年 10 月 31 日

各　　位

会 社 名　　日本郵船株式会社
代表者名　　代表取締役社長　工藤　泰三
コード番号　9101
上場取引所　東証・大証・名証各第一部
問合せ先　　ＩＲグループ長　宮本　教子
（TEL.　03-3284-5986）

第２四半期業績予想値と実績値の差異並びに通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年９月 28 日に公表した平成 25 年３月期第２四半期連結累計期間（平成 24 年４月１日～平成 24 年９月 30 日）の連結業績予想値と実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、平成 24 年７月 31 日に公表した通期業績予想及び配当予想を修正しましたので、お知らせいたします。

記

１．第２四半期業績予想値と実績値の差異について

平成 25 年３月期第２四半期累計連結業績予想数値と実績値の差異（平成 24 年４月１日～平成 24 年９月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A） （平成 24 年９月 28 日発表）	百万円 950,000	百万円 18,000	百万円 13,000	百万円 △3,000	円　銭 △1.77
今回発表実績値（B）	944,036	17,879	13,083	△4,149	△2.45
増減額（B－A）	△5,964	△121	83	△1,149	
増減率（%）	△0.6	△0.7	0.6	－	
（ご参考）前期第２四半期実績 （平成 24 年３月期第２四半期）	911,184	△9,662	△15,117	△12,063	△7.11

差異の理由：

主として税金費用の差異によります。

２．通期業績予想の修正について

平成 25 年３月期通期連結業績予想数値の修正（平成 24 年４月１日～平成 25 年３月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A） （平成 24 年７月 31 日発表）	百万円 1,960,000	百万円 50,000	百万円 40,000	百万円 20,000	円　銭 11.79
今回発表予想（B）	1,880,000	28,000	20,000	1,000	0.59
増減額（B－A）	△80,000	△22,000	△20,000	△19,000	
増減率（%）	△4.1	△44.0	△50.0	△95.0	
（ご参考）前期実績 （平成 24 年３月期）	1,807,819	△24,124	△33,238	△72,820	△42.92

修正の理由：

世界経済は引き続き先行き不透明な状態にあり、為替は円高基調が継続し、燃料油価格も高止まりしており、当社を取り巻く環境は下期も厳しい状況が続くと予想します。定期船事業では減便や航路網の合理化等により運賃水準の維持に努めますが、閑散期に入り荷動きが減少し運賃下落の圧力が高まると見込みます。また、減速航海等コスト削減を継続しますが、通期での収支は前回予想を下回る見込みです。不定期専用船事業のドライバルカー及びタンカー部門の市況は、需要期である冬場に向け一時的に緩やかな回復を見込みますが、船腹の供給過剰感が強く市場の不安を払拭できず低迷を続けると予想します。引き続き、減速航海、係船、スクラップ等コスト削減及び供給の引締めに努力しますが業績の改善には至らないと予想します。また、欧米市場への依存度が高い航空運送事業と客船事業も厳しい状況にあります。

以上により、業績予想を修正することとしました。

※ 業績予想の前提
為替レート（今回）79.37円/米ドル　　（前回）80.19円/米ドル
燃料油価格（今回）669.35米ドル/MT　　（前回）666.70米ドル/MT

３．配当予想の修正について

	年間配当金（円）				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
前回予想（平成24年７月31日発表）		２円00銭		２円00銭	４円00銭
今回修正予想				未定	未定
当期実績		２円00銭			
前期（平成24年３月期）実績		２円00銭		２円00銭	４円00銭

修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつとして位置付けております。当事業年度（平成25年３月期）の中間配当金は、予定通り１株当たり２円とします。期末配当については、下期の事業環境が不透明なことから、現時点では未定とし、決定次第お知らせいたします。

(注)上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以　上